



第46回織研合織賞、第2回織研天然繊維特別賞

都内で贈呈式開く

第46回織研合織賞、第2回織研天然繊維特別賞（織研新聞社主催）の贈呈式が14日、東京都内のホテルで行われた。写真は、合織賞は6部門・13の素材、技術、商品、企画に贈った。今回はグランプリは該当なしだった。織研天然繊維特別賞は、カイハラとソト。

受賞者を代表して東レの日豊昭廣社長は「受賞した各社のいづれの取り組みも先端技術を反映し、マーケットのニーズを先取りするもの。常々、『素材には社会を変える力がある』と訴えているが、革新的な素材開発

で次はみんなでグランプリを目指したい」と語った。

来賓の小林洋司経済産業省大臣官房審議官は「消費者ニーズが多様化し、高機能な素材がますます求められている。日本の繊維産業の技術開発力、感性は世界最高水準にある。オールジャパンで力を合わせれば、素材だけでなく最終製品としても競争力を出せると期待している」と語った。

また、贈呈式後のパーティーでは、鈴木純日本化学繊維協会長が「汎用繊維はすでに新興国主導に移っているが、日本が得意とする高機能、高性能な繊維は世の中のニーズに合致している。先端素材をさらに世界に広げていきたい」とあいさつした。